**桐原書店『新 探求古典Ｂ　古文編／漢文編』（古Ｂ 354／355）　評価規準例**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目 | 単位数 | 学年 | 使用教科書 |
| 古典Ｂ | 4単位 | 2学年・3学年 | 『新 探求古典Ｂ 古文編／漢文編』（桐原書店） |

**１.学習の到達目標**

|  |
| --- |
| 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。 |

**２．評価の観点**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 知識・理解 |
| 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 | 目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 | 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 | 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 |

**３．使用副教材**

|  |
| --- |
| 『新 探求古典Ｂ 準拠 予習復習ノート 古文編』  『新 探求古典Ｂ 準拠 予習復習ノート 漢文編』  『新 探求古典Ｂ 準拠　古典マイノート 古文編Ⅰ部①』  『新 探求古典Ｂ 準拠　古典マイノート 古文編Ⅰ部②』  『新 探求古典Ｂ 準拠　古典マイノート 古文編Ⅱ部①』  『新 探求古典Ｂ 準拠　古典マイノート 古文編Ⅱ部②』  『新 探求古典Ｂ 準拠　古典マイノート 漢文編Ⅰ部』  『新 探求古典Ｂ 準拠　古典マイノート 漢文編Ⅱ部』 |

**《古文編　Ⅰ部》**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 説話 | 歌詠みて罪を許さるること  （p.8～p.10） | １ | ・比較的短い説話を読み、話のおもしろさを理解する。  ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。  ・説話文学の一ジャンルである歌徳説話の特質を捉える。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「宇治拾遺物語」について、文学史的事項を調べている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読登場人物の行動と心理の推移を理解している。  話最後の一文に示されたこの説話の主題について考察している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知動詞の活用などの文法事項を理解している。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知説話文学と「宇治拾遺物語」について、文学史的知識を持っている。 |
| 衣のたて  （p.11～p.12） | １ | ・比較的短い説話を読み、話のおもしろさを理解する。  ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。  ・説話文学の一ジャンルである歌徳説話の特質を捉える。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「古今著聞集」について、文学史的事項を調べている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読登場人物の行動と心理の推移を理解している。  読本文末尾に示された作者の感想を理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知形容詞・形容動詞の活用などの文法事項を理解している。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知説話文学と「古今著聞集」について、文学史的知識を持っている。 |
| 虎の鰐取りたること  （p.13～p.15） | ２ | ・まとまった分量のある説話を読み、話のおもしろさを理解する。  ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。  ・場面の臨場感を高めるための表現上の工夫について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「宇治拾遺物語」について、文学史的事項を調べている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読登場人物の行動と心理の推移を理解している。  読虎とサメとの格闘を目の当たりにしたときの舟人の様子を理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知接続助詞「ば」などの文法事項を理解している。  知現在形の多用や具体的な数字の提示といった表現上の工夫がこの話に臨場感を与えていることを理解している。  知説話文学と「宇治拾遺物語」について、文学史的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 随筆Ⅰ | 徒然草  （p.16～p.25）  ［あだし野の露消ゆるときなく］  ［家居のつきづきしく］  ［これも仁和寺の法師］  ［ある者、子を法師になして］  ［主ある家には］ | ６ | ・随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。  ・観念性・抽象性の高い文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・作品が書かれた時代背景を理解する。  ・和文体・和漢混淆文体・説話体の文体の違いを理解し、優れた表現を味わう。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関兼好法師と「徒然草」について、文学史的事項を調べたり発表したりしている。  関本文と内容的に関連する「徒然草」の章段について調べようとしている。  関「無常観」や「もののあはれ」について調べ、理解しようとしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読対句表現や反語表現などに注意しながら、作者の思想や感情を的確に読み取っている。  読［あだし野の露消ゆるときなく］作者の無常観を捉え、老いゆく人間に対して作者がどう考えているか理解している。  読［家居のつきづきしく］作者が考える理想の住居のあり方と、後徳大寺大臣に対する作者の思いを的確に読み取っている。  読［これも仁和寺の法師］法師の軽はずみな行動とその後の騒動からうかがえる人間の滑稽さを理解している。  読［ある者、子を法師になして］全体の構成を捉えた上で、末尾の一文に表れた作者の主張を的確に捉えている。  読［主ある家には］三つの例の共通点を考え、「心」についての作者の捉え方を理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知［あだし野の露消ゆるときなく］助動詞「む」などの文法事項を理解している。  知［家居のつきづきしく］助動詞「る」「らる」などの文法事項を理解している。  知［これも仁和寺の法師］助動詞「けむ」「らむ」などの文法事項を理解している。  知［ある者、子を法師になして］助動詞「べし」などの文法事項を理解している。  知［主ある家には］助動詞「まし」などの文法事項を理解している。  知兼好法師と「徒然草」について、文学史的知識を持っている。 |
| 方丈記  （p.26～p.31）  ［行く川の流れ］  ［安元の大火・治承のつじ風］ | ４ | ・随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。  ・観念性・抽象性の高い文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・作品が書かれた時代背景を理解する。  ・和漢混淆文の美しい文体を理解し、冒頭部分については暗唱する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関作品の書かれた当時の時代背景や作者の鴨長明について、調べたり発表したりしている。  関月の異名・方角・地名など古典常識に関わる事柄について、辞書や地図で調べたり確認したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読［行く川の流れ］対句的な表現や比喩的表現の効果を味わいつつ、「無常感」について理解している。  読［安元の大火・治承のつじ風］①大火とつじ風の状況を想像し、理解している。  　②二つの「世の不思議」に対する作者の感想を的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知冒頭部分を暗唱している。  知重要古語の意味を理解している。  知［行く川の流れ］係り結びなどの文法事項を理解している。  知［安元の大火・治承のつじ風］結びの省略などの文法事項を理解している。  知月の異名・方角・地名など古典常識に関わる知識を持っている。  知鴨長明と「方丈記」について、文学史的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 物語と  日記 | 竹取物語  （p.32～p.36）  ［天の羽衣］ | ２ | ・昔話として有名な作品を読んで、平安時代の物語文学への関心を高める。  ・話の構成や展開を把握し、かぐや姫や竹取の翁など登場人物の行動や心理を押さえる。  ・敬語表現の基本について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「竹取物語」全体の構成・内容について、調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読登場人物の行動と心理の推移を理解している。  読話の展開における天の羽衣・不死の薬の役割について理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知敬語「奉る」、助動詞「まじ」などの文法事項を理解している。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知物語文学と「竹取物語」について、文学史的知識を持っている。 |
| 伊勢物語  （p.36～p.44）  ［初冠］  ［月やあらぬ］  ［行く蛍］  ［狩りの使ひ］  ［つひに行く道］ | ６ | ・歌物語を読んで、平安時代の物語文学に親しむ。  ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。  ・歌物語における和歌の役割を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「伊勢物語」全体の構成・内容について、調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読登場人物の行動と心理の推移を理解している。  読［初冠］作者の感想が示された部分を的確に理解している。  読［月やあらぬ］月日の流れに反して、止まったままの思いを持っている主人公の心情を理解している。  話［行く蛍］「男」が「蛍」や「雁」に思いを託した理由やその心情を考察している。  話［狩りの使ひ］「男」と「女」が逢うことができなかった理由を考察している。  話［つひに行く道］この箇所が「伊勢物語」の最終段に置かれた意図を考察している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知［初冠］助動詞「つ」「ぬ」などの文法事項を理解している。  知［月やあらぬ］助動詞「ず」などの文法事項を理解している。  知［行く蛍］助動詞「き」「けり」などの文法事項を理解している。  知［狩りの使ひ］助動詞「たり」「り」などの文法事項を理解している。  知［つひに行く道］助動詞「べし」「けり」「き」などの文法事項を理解している。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知「伊勢物語」について、文学史的知識を持っている。 |
| 大和物語  （p.45～p.47）  ［姥捨］ | ２ | ・歌物語を読んで、平安時代の物語文学に親しむ。  ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。  ・歌物語における和歌の役割を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関姨捨山伝説について、その背景などを調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読会話体の表現や指示語を的確に理解している。  読男の伯母に対する心情の推移に即して内容を理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知結びの省略、「ぬ」の識別などの文法事項を理解している。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知「大和物語」について、文学史的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 物語と  日記 | 更級日記  （p.48～p.53）  ［門出］  ［物語］ | ３ | ・日記を読んで、人間、文学、社会などに対する作者のものの考え方や感じ方を理解する。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・回想日記の特質を知って、女流日記文学への関心を高める。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関平安時代の日記文学について、主要な作品や作者などを調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読内容や構成を展開に即して理解している。  読［門出］作者の物語への思いの深まりや惜別の寂しさなどを的確に捉えている。  読［物語］物語に対する少女時代の作者の気持ちの変化、晩年における自己批評の内容を的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知［門出］「なる」の識別などの文法事項を理解している。  知［物語］「なむ」の識別などの文法事項を理解している。  知女流日記文学と「更級日記」について、文学史的知識を持っている。 |
| 随筆Ⅱ | 枕草子  （p.56～p.65）  ［春はあけぼの］  ［うつくしきもの］  ［木の花は］  ［中納言参りたまひて］  ［雪のいと高う降りたるを］ | ７ | ・随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・古文の調子を味わいながら、的確に朗読したり、暗唱したりする。  ・随想的章段・類聚的章段・日記的章段のそれぞれの特色を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関作者の清少納言や「枕草子」の内容・構成の特色などを調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読随想的章段・類聚的章段・日記的章段の違いを理解し、それぞれの内容を正確に読み取っている。  読［春はあけぼの］作者の捉えた季節の美について理解している。  読［うつくしきもの］作者の挙げる「うつくしきもの」の共通点を理解している。  話［木の花は］花に対する評価を通して見えてくる、作者のものの見方を考察している。  話［中納言参りたまひて］登場人物（中宮／中納言）の人物像について話し合っている。  読［雪のいと高う降りたるを］行動や言動から中宮定子の人物像を読み取っている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知［春はあけぼの］基本的な文法事項を理解している。  知［うつくしきもの］格助詞「の」などの文法事項を理解している。  知［木の花は］副助詞「さへ」「だに」などの文法事項を理解している。  知［中納言参りたまひて］敬語（敬語の種類、敬意の方向）などの文法事項を理解している。  知［雪のいと高う降りたるを］助動詞「す」「さす」などの文法事項を理解している。  知清少納言と「枕草子」について、文学史的知識を持っている。  知中宮定子を取りまく人物関係について、基礎的な知識を持っている。  知平安時代の貴族の邸宅について、基礎的な知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 歴史と軍記 | 大鏡  （p.66～p.77）  ［雲林院の菩提講］  ［花山院の出家］  ［三船の才］  ［道長と伊周の競射］ | ５ | ・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。  ・老人二人が語るという形式を用いた「大鏡」の構成の特色とおもしろさを知り、歴史物語というジャンルに関心を持つ。  ・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「大鏡」の内容・構成の特色や、兼家・公任・道長など主要な登場人物について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読「大鏡」の語りの特色を理解している。  読［雲林院の菩提講]「大鏡」の構成や成り立ちについて理解している。  読［花山院の出家］登場人物の特徴を捉え、花山院出家の事件に対する語り手の姿勢を理解している。  話・読［三船の才］①道長と公任の人物像、当時の文芸思潮について考察している。  　②修辞技法を押さえた上で「小倉山」の歌を正確に解釈している。  話［道長と伊周の競射］道長と伊周の人物像と道隆の心の動きを考察している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知［雲林院の菩提講]助動詞「めり」、敬語「たまふ」などの文法事項を理解している。  知［花山院の出家］敬語「侍り」「候ふ」などの文法事項を理解している。  知［三船の才］「る」の識別などの文法事項を理解している。  知［道長と伊周の競射］呼応の副詞などの文法事項を理解している。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知「大鏡」やほかの歴史物語について文学史的知識を持っている。  知兼家・公任・道長など主要な登場人物について知識を持っている。 |
| 平家物語  （p.78～p.85）  ［宇治川の先陣］  ［先帝入水］ | ５ | ・軍記物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。  ・「平家物語」に特徴的な音便形に注意して生き生きと音読し、語り物としての魅力を味わう。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関源平の合戦をめぐる時代状況について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読まとまった分量のある本文をいくつかの段落に分け、全体の構成を理解している。  読・話［宇治川の先陣］義経の心理、佐々木と梶原の先陣争い、大串の滑稽譚を的確に捉えている。また東国武士の描かれ方について、話し合っている。  読［先帝入水］知盛と女房たち、二位殿と安徳天皇の様子を理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知［宇治川の先陣］「に」の識別などの文法事項を理解している。  知［先帝入水］基本的な文法事項を理解している。  知「平家物語」やほかの軍記物語について文学史的知識を持っている。 |
| 平家物語　小林秀雄  （p.86～p.91） | ２ | ・「平家物語」について書かれた現代の評論を読んで、筆者の着眼点や意見を理解する。  ・「宇治川の先陣｣とその前後の場面について｢平家物語｣と「源平盛衰記」の記述を確認し、違いを理解する。  ・「平家物語」の文章の特徴に対する筆者の意見と筆者の「平家物語」観について理解する。  ・筆者の意見を踏まえながら「宇治川の先陣」を音読し、その描写や表現を読み味わう。  ・小林秀雄のほかの作品について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関筆者が古典作品について論評したほかの文章に関心を持ち、調べている。  関「源平盛衰記」の構成や内容について関心を持ち、調べている。 | 読「平家物語」の文章の特徴に対する筆者の意見を「宇治川の先陣」の内容に即して理解している。  読「平家物語」に対する一般的な捉えられ方と筆者の捉え方の違いを理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知「平家物語」と「源平盛衰記」の記述の違いを理解している。  知小林秀雄のほかの作品について知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 物語 | 源氏物語  （p.92～p.102）  ［光源氏の誕生］  ［光源氏と藤壺］  ［若紫との出会い］ | ７ | ・長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。  ・「源氏物語」の構成や内容について関心を持つ。  ・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「源氏物語」全体のあらすじについて調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読まとまった分量のある本文をいくつかの段落に分け、全体の構成を理解している。  読［光源氏の誕生］①桐壺の更衣を中心に内容を理解している。  　②書き出しの特徴と末尾の短文の効果を理解している。  読・話［光源氏と藤壺］①藤壺宮に対して、桐壺帝や光源氏がどのような思いを持っているかを理解している。  　②「光る君」「かかやく日の宮」という表現が読み手にどのような印象を与えているか、話し合っている。  読［若紫との出会い］①尼君と周囲の人々のやりとりを的確に読み取っている。  　②二首の和歌の対応とそれぞれの主題を的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知「し」の識別、敬語（敬語の種類、敬意の方向）などの文法事項を理解している。  知［若紫との出会い］和歌の修辞技巧を理解している。  知「源氏物語」について文学史的知識を持っている。 |
| 古文  解析 | 継母との別れ  （p.104～p.105） | １ | ・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。  ・紛らわしい語の識別に注意をしながら、本文を正確に読み解く。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関紛らわしい語の識別が、本文の正確な読み解きにつながることを理解している。 | 読語注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読それぞれの和歌に込められた作者や継母の気持ちが、どのようなものかを読み取っている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知「なり」「なむ」「に」など、紛らわしい語の識別を理解している。 |
| 旧都の月  （p.106～p.107） | １ | ・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。  ・敬語の用法に注意しながら、本文を正確に読み解く。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関敬語の用法を押さえることが、本文の正確な読み解きにつながることを理解している。 | 読語注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読実定が大宮のもとを訪れたときの二人の様子や、しみじみとした思いを理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知敬語の用法（敬語の種類、敬意の方向）を理解している。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 和歌と俳諧 | 和歌  （p.108～p.115）  ［春秋］  ［恋］  ［離別・旅・哀傷］ | ３ | ・繰り返し音読し、和歌の調べの美しさを味わう。  ・和歌の優れた表現に親しむ。  ・和歌の修辞技巧を理解する。  ・各歌が作者のどのような意識のもとに作り上げられているかを理解する。  ・著名歌人についての文学史的知識を持つ。 | 関句切れに注意しながら、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関歌人の略歴や作風・代表歌などについて、調べたり発表したりしている。 | 読各歌に詠み込まれた作者の思想や感情を的確に読み取っている。  読［春秋］季節を捉える感覚や言葉、景物について理解している。  読［恋］作者が恋心をどのようなものにたとえているかを理解している。  読［離別・旅・哀傷］現実の生活との結びつきとしての和歌の世界を味わっている。 | 知各歌を句切れに注意して正しく音読している。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知勅撰集を中心とした歌集や、各歌の作者について、文学史的知識を持っている。 |
| 俳諧  （p.116～p.123）  ［発句］  ［連句］ | ５ | ・繰り返し音読し、俳諧のリズムを味わう。  ・俳諧の優れた表現に親しむ。  ・俳諧の修辞技巧や連句の形式を理解する。  ・芭蕉・蕪村・一茶について文学史的知識を持つ。 | 関切れ字に注意しながら、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関芭蕉・蕪村・一茶や俳諧の歴史について調べたり発表したりしている。 | 読素材の取り合わせや表現のおもしろさを味わいながら、各句を解釈している。  話［発句］芭蕉・蕪村・一茶の作句のねらいについて考えている。  読［連句］前句の内容をどのように展開しているかを理解している。 | 知各句を切れ字に注意して正しく音読している。  知俳諧の修辞技巧を理解している。  知芭蕉・蕪村・一茶や俳諧の歴史について、文学史的知識を持っている。 |
| 近世  文学 | 世界の借屋大将  （p.124～p.129） | ３ | ・近世小説を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。  ・近世特有の語法・文体を理解する。  ・人間心理に深く踏み込んだ浮世草子の描写を味わう。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関西鶴や「日本永代蔵」について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読導入部＋エピソードから成る構成を理解している。  読藤市の性格や倹約ぶりを示すエピソードを的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知文を連体形で終止することが多い近世の語法について理解している。  知西鶴の浮世草子について文学史的知識を持っている。 |
| 浅茅が宿  （p.131～p.137） | ３ | ・近世小説を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。  ・怪異的な現象の中に人間性を描き出していく「雨月物語」の魅力を味わう。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「雨月物語」の中のほかの話について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読冒頭の梗概を丁寧に読み、教科書本文に至るまでの物語の流れを的確に理解している。  読勝四郎の心情の推移と、辞世の歌に込められた宮木の思いを的確に読み取っている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知秋成の読本について文学史的知識を持っている。 |

**《古文編　Ⅱ部》**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 説話 | 刑部卿敦兼と北の方  （p.148～p.149） | １ | ・比較的短い説話を読み、話のおもしろさを理解する。  ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。  ・和歌の修辞技巧を復習し、歌の主旨を捉えたうえで、作品の主題を考える。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関平安時代の人々にとって、和歌や管弦がいかに重要なものであったかを調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読北の方の、敦兼に対する気持ちの変化を的確に捉えている。  読七五・八五・八五・七五の韻律から成る歌の内容を理解している。  読敦兼の人柄についてどう思うか、話し合っている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知説話文学と「古今著聞集」について、文学史的知識を持っている。 |
| 秦兼久の悪口  （p.150～p.152） | １ | ・比較的短い説話を読み、話のおもしろさを理解する。  ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。  ・和歌の修辞技巧を復習し、歌の主旨を捉えたうえで、作品の主題を考える。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関平安時代の人々にとって、勅撰集に入集することがいかに重要なものであったかを調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読兼久の歌に対する通俊の評価と、それに対する兼久の反論の主旨を的確に捉えている。  読通俊がなぜ本文末尾にあるような言葉を発したのか、話し合っている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知説話文学と「宇治拾遺物語」について、文学史的知識を持っている。  知勅撰和歌集（特に八代集など）について、文学史的知識を持っている。 |
| 勘解由小路の地蔵  （p.152～p.155） | ２ | ・まとまった分量のある説話を読み、話のおもしろさを理解する。  ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。  ・単なる笑い話ではない、仏教説話としての主題を考える。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関身近にある民間信仰など、本文と関連する話題について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読法師の策略と滑稽な行動を理解している。  読女房が入道と結ばれるまでの過程を理解している。  読仏教説話としての本文の主題を的確に読み取っている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知説話文学と「沙石集」について、文学史的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 随筆 | 枕草子  （p.156～p.165）  ［すさまじきもの］  ［野分のまたの日こそ］  ［二月つごもりごろに］  ［大納言殿参りたまひて］ | ４ | ・随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・随想的章段・類聚的章段・日記的章段のそれぞれの特色を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関作者の清少納言や「枕草子」の内容・構成の特色などを調べたり発表したりしている。  関和歌の贈答に関する古典常識について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読随想的章段・類聚的章段・日記的章段の違いを理解し、それぞれの内容を正確に読み取っている。  読［すさまじきもの］作者の捉えた「すさまじきもの」の内容について理解している。  話［野分のまたの日こそ］「野分のまたの日」に対する作者の感想について話し合っている。  読［二月つごもりごろに］公任の手紙を受け取ってから、それに返事を出すまでの作者の心の動きを的確に捉えている。  読［大納言殿参りたまひて］中宮定子とその周辺の文化的状況に対する作者の思いを理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知清少納言と「枕草子」について、文学史的知識を持っている。  知中宮定子を取りまく人物関係について、基礎的な知識を持っている。  知平安時代の貴族の邸宅ついて、基礎的な知識を持っている。  知和歌の贈答に関する古典常識について基礎的な知識を持っている。 |
| 日記 | 蜻蛉日記  （p.166～p.170）  ［嘆きつつひとり寝る夜］  ［鷹を放つ］ | ２ | ・日記を読んで、作者のものの考え方や感じ方を理解する。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・和歌に込められた登場人物の心情を理解する。  ・平安貴族社会の結婚形態について、その特徴を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関女流日記としての「蜻蛉日記」の概要と、当時の結婚形態について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読修辞法に注意しながら、和歌を正確に解釈している。  読［嘆きつつひとり寝る夜］作者と夫兼家の心情のすれ違いを的確に読み取っている。  読［鷹を放つ］出家を決意するに至る作者の心情と、それに対する息子道綱の反応を的確に読み取っている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知「蜻蛉日記」について、文学史的知識を持っている。  知平安貴族社会の結婚形態について、基本的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 日記 | 和泉式部日記  （p.171～p.176）  ［夢よりもはかなき世の中を］  ［有明の月に］ | ２ | ・日記を読んで、作者のものの考え方や感じ方を理解する。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・和歌に込められた登場人物の心情を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関女流日記としての「和泉式部日記」の概要と、和泉式部の人物像について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読和歌の表現に着目して、作者と帥宮との交渉を的確に読み取っている。  読［夢よりもはかなき世の中を］①比喩表現に注意しながら、和歌を正確に解釈している。  　②作者の住まいの場面と帥宮の邸の二つの場面から成る構成を的確に捉えている。  読・話［有明の月に］①作者と帥宮の心が情趣を介して通じ合っている様子を読み取っている。  　②「和泉式部日記」の物語的な側面について話し合っている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知「和泉式部日記」について、文学史的知識を持っている。 |
| 紫式部日記  （p.177～p.181）  ［水鳥に思いよそえて］  ［日本紀の御局］ | ３ | ・日記を読んで、作者のものの考え方や感じ方を理解する。  ・登場人物を整理し、行為の主体を正確に把握しながら内容を読み取る。  ・「源氏物語」の作者としての紫式部の人物像を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関女流日記としての「紫式部日記」の概要や「源氏物語」との関連について調べたり発表したりしている。  関漢文の教養に関する当時の状況について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読指示語・主語を確認しながら、登場人物の言動を整理している。  読［水鳥に思いよそえて］行幸を間近に控えた土御門邸において、作者がどのような思いを抱いているか、的確に読み取っている。  読［日本紀の御局］さまざまな挿話を整理しながら、作者の漢文に対する考え方を的確に読み取っている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知［水鳥に思いよそえて］和歌の修辞技巧を理解している。  知「紫式部日記」について、文学史的知識を持っている。 |
| 建礼門院右京大夫集  （p.182～p.185）  ［かかる夢見ぬ人やいひけむ］  ［今や夢昔や夢と］ | ２ | ・日記を読んで、作者のものの考え方や感じ方を理解する。  ・和歌の解釈を通して、作者の心情表現の論理を考察する。  ・「平家物語」と関連づけながら、人間関係と内容を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関女流日記としての「建礼門院右京大夫集」の概要や「平家物語」との関連について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読［かかる夢見ぬ人やいひけむ］資盛の死に対する作者の心情や、二首の歌の解釈を通して作者が自身の悲境を認識する論理について、的確に読み取っている。  読［今や夢昔や夢と］過去と比較した現在の女院の様子や、女院に対する作者の思いを的確に読み取っている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知「建礼門院右京大夫集」について、文学史的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 物語 | 源氏物語  （p.186～p.210）  ［藤壺の里下がり］  ［葵上と物の怪］  ［柏木と女三宮］  ［紫上の死］  ［匂宮と浮舟］ | 15 | ・長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。  ・「源氏物語」の構成や内容について関心を持つ。  ・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「源氏物語」全体のあらすじについて調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読本文をいくつかの段落に分け、全体の構成を理解している。  読和歌の解釈を通して、登場人物の心情を的確に読み取っている。  読［藤壺の里下がり］藤壺の懐妊に対する帝の感慨、光源氏と藤壺本人の思いを的確に理解している。  読［葵上と物の怪］葵上の出産に伴う周囲の人々の思いと、御息所の心の異常が高じていくさまを的確に捉えている。  読［柏木と女三宮］女三宮の人物像と、柏木・夕霧・光源氏三者の行動と心理を的確に捉えている。  読［紫上の死］死期の近い紫の上、それを見守る源氏、見舞いに訪れた中宮の心情を的確に捉えている。  読［匂宮と浮舟］宇治を訪れる匂宮の心情と、それに対する浮舟の心情を的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知（［柏木と女三宮］以外）和歌の修辞技巧を理解している。  知「源氏物語」について文学史的知識を持っている。 |
| 堤中納言物語  （p.211～p.213）  ［虫めづる姫君］ | ２ | ・短編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。  ・物語のおもしろさを味わう。  ・「堤中納言物語」の文学史的位置づけを理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「堤中納言物語」の文学史的位置づけや「虫めづる姫君」以外の話の内容などを調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読主語などを補いながら、的確に表現を理解している。  読姫君の型破りな言動と、それに対する周囲の反応を的確に読み取っている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知「堤中納言物語」について文学史的知識を持っている。 |
| 松浦宮物語  （p.214～p.217）  ［梅里の一夜］ | ３ | ・擬古物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。  ・「松浦宮物語」の構成や内容について関心を持つ。  ・擬古物語の系統について理解する。  ・他の物語作品から受けた影響がどのようなところに表れているかを理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「松浦宮物語」全体のあらすじや擬古物語の系統について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読主語が誰かを明確にしながら読み進めることができる。  読「簫を吹く女」に対する少将の気持ちを、場面の流れに即して的確に読み取っている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知「松浦宮物語」を含む擬古物語について文学史的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 評論Ⅰ | やまと歌は  （p.218～p.219） | １ | ・歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・作者紀貫之と「古今和歌集」の文学史的位置づけを理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関作者紀貫之と「古今和歌集」について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読作者の説く和歌の本質と和歌の効用の内容を的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知作者紀貫之と「古今和歌集」について文学史的な知識を持っている。 |
| 和歌の効用  （p.219～p.221） | １ | ・歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・歌論中に取り上げられている和歌を鑑賞する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「俊頼髄脳」や登場人物である紀貫之について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読和歌の技巧を的確に捉えて解釈している。  読本文の内容が和歌の効用の具体例であることを理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知「俊頼髄脳」や登場人物である紀貫之について文学史的な知識を持ってい |
| 俊成自賛歌のこと  （p.222～p.224） | ２ | ・歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・会話部分に注意しながら、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・歌論中に取り上げられている和歌を鑑賞する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関俊成・俊恵・長明が当時の社会でどのような位置にいたのかについて調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読和歌の技巧を的確に捉えて解釈している。  読俊成の自賛歌に対する俊恵の批判の要点を的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知「無名抄」とその作者鴨長明や登場人物である俊成・俊恵について文学史的な知識を持っている。 |
| 行く春を  （p.225～p.226） | １ | ・俳論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・取り上げられている芭蕉の発句を鑑賞する。  ・去来と芭蕉のやりとりを通じて、芭蕉の俳諧観を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関芭蕉と去来の関係について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読芭蕉の発句に対する尚白の批判と、それに対する去来の反論の内容を的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知俳諧の修辞技巧を理解している。  知芭蕉と去来について文学史的な知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 評論Ⅰ | 岩鼻や  （p.226～p.228） | １ | ・俳論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・取り上げられている去来の発句を鑑賞する。  ・去来と芭蕉のやりとりを通じて、俳諧が作品として成立する過程を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関芭蕉と去来の関係について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読去来の発句に対する洒堂の指摘と、去来自身の趣向、芭蕉の解釈の内容を、それぞれ的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知俳諧の修辞技巧を理解している。  知芭蕉と去来について文学史的な知識を持っている。 |
| 師の風雅  （p.229～p.231） | １ | ・俳論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・「不易」「流行（変化）」「風雅の誠」に対する土芳の考え方を理解する。  ・芭蕉が俳諧に果たした役割について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関芭蕉の登場によって俳諧がどのように変化したかを調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読「不易」「流行（変化）」「風雅の誠」に対して去来がどのように述べているかを、的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知芭蕉と土芳について文学史的な知識を持っている。 |
| 歴史と伝記 | 大鏡  （p.232～p.240）  ［菅原道真の左遷］  ［道長の豪胆］ | ６ | ・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。  ・老人二人が語るという形式を用いた「大鏡」の構成の特色とおもしろさを知り、歴史物語というジャンルに関心を持つ。  ・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「大鏡」の内容・構成の特色や、時平・道真・道長・花山院など主要な登場人物について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読「大鏡」の語りの特色を理解している。  読［菅原道真の左遷］道真左遷の背景としての時平と道真の人物比較、左遷される道真の状況と心情の推移、道真没後のエピソードについて的確に読み取っている。  読［道長の豪胆］①二つのエピソードから成る構成を的確に捉えている。  　②道隆・道兼、道長、花山院の性格の違いを本文に即して的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知［菅原道真の左遷］和歌の修辞技巧を理解している。  知「大鏡」やほかの歴史物語について文学史的知識を持っている。  知時平・道真・道長・花山院など主要な登場人物について知識を持っている。 |
| 古事記  （p.241～p.245）  ［倭建命］ | ２ | ・古代の伝承を読んで、上代特有の表現に注意しながら、登場人物の行動や心情を読み取る。  ・「古事記」の文学史的位置を理解する。  ・古代の歌謡に対する理解を深める。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関上代特有の表現について調べ理解しようとしている。  関「古事記」の文学史上の意義について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読倭建命のたどった旅程を、本文に即して正確に理解している。  読歌謡の解釈を通して、倭建命の心情を的確に読み取っている。 | 知全文を正しく音読している。  知上代特有の語彙・文法を理解している。  知古代歌謡の表現上の特徴を理解している。  知「古事記」について文学史的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 評論Ⅱ | 小野小町  （p.246～p.248） | １ | ・物語評論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・引用されている小野小町の和歌を鑑賞する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「無名草子」の内容・構成や歌人小野小町の歌風・代表歌について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読和歌の技巧を的確に捉えて解釈している。  読小町の歌と生涯に対して、どのような評価が下されているか、的確に理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知和歌の修辞技巧を理解している。  知「無名草子」や登場人物である小野小町について文学史的な知識を持っている。 |
| 秘する花を知ること  （p.249～p.251） | ２ | ・能楽論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・日本の伝統芸能への理解を深める。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関世阿弥と能楽について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読「秘する花を知ること」の意味を的確に捉えている。  読「めづらしき理の大用」「生涯の主になる花」などの表現に即して、世阿弥の主張を理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知世阿弥と中世の能楽について文学史的な知識を持っている。 |
| 虚実皮膜の論  （p.252～p.254） | １ | ・浄瑠璃評釈を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・日本の伝統芸能への理解を深める。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関近松門左衛門と浄瑠璃について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読芸道論における当時の風潮を踏まえて、近松の主張を的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知近松門左衛門や浄瑠璃・歌舞伎などの芸能について文学史的な知識を持っている。 |
| 師の説になづまざること  （p.254～p.257） | １ | ・学問的随筆を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関本居宣長について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読学問の真理と師への敬愛の関係について、宣長が述べている主張を的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知本居宣長について文学史的な知識を持っている。 |
| もののあはれ  （p.258～p.259） | １ | ・物語評論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・「源氏物語」についての理解を深める。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「もののあはれ」という考え方について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読「もののあはれ」と「恋」の関係について的確に捉えている。  読「源氏物語」に恋の話題が多い理由と俊成の歌の引用の役割を的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知本文を文法事項に即して現代語訳することができている。  知本居宣長と「源氏物語」について文学史的な知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 近世の文章・戯曲・和歌 | 風雅の道  （p.260～p.262） | １ | ・俳文を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・芭蕉の俳諧観を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関芭蕉と許六の関係について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読後鳥羽上皇など先人の言葉を引用しながら芭蕉が言おうとしていることを理解している。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知芭蕉や俳文というジャンルについて文学史的な知識を持っている。 |
| 娘 さと  （p.262～p.264） | １ | ・俳文を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・比喩表現からうかがえる、作者の「さと」に対する心情を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関一茶の生涯について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読本文中に用いられている比喩表現が作者と「さと」のどのような様子をたとえたものであるかを、的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知一茶や俳文というジャンルについて文学史的な知識を持っている。 |
| 堪忍  （p.264～p.266） | １ | ・近世随筆を読んで、作者の思想や感情を読み取る。  ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。  ・近世の世相が文章に反映されていることを理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。  関「雲萍雑志」や同時代の随筆集について調べたり発表したりしている。  関近世の身分制度について調べたり発表したりしている。 | 読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。  読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読本文中の二つの逸話からうかがえる、「供人」と平沢の考え方の違いについて、的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知重要古語の意味を理解している。  知近世随筆について文学史的な知識を持っている。 |
| 徳兵衛お初道行  （p.267～p.269） | ２ | ・浄瑠璃を朗読して、その独特のリズムを味わう。  ・登場人物の心情を話の展開に即して的確に捉える。  ・日本の伝統芸能への理解を深める。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関人形浄瑠璃や作者に関する事項について調べたり発表したりしている。 | 読作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。  読登場人物二人のおかれた状況と、これから曽根崎天神に向かう二人の心情を的確に捉えている。 | 知全文を正しく音読している。  知「曽根崎心中」や人形浄瑠璃というジャンルについて文学史的な知識を持っている。 |
| 近世和歌  （p.270～p.271） | １ | ・繰り返し音読し、和歌のリズムを味わう。  ・和歌の優れた表現に親しむとともに、和歌の修辞技巧を理解する。  ・近世和歌の成立と特徴について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関各歌の作者について調べたり発表したりしている。 | 読語句の意味を正確に理解し、歌意を的確に捉えている。  読各歌に詠み込まれた作者の思想や感情を的確に捉えている。 | 知句切れに注意して各歌を正しく音読している。  知近世和歌の成立や特徴について文学史的な知識を持っている。 |
| 狂歌  （p.272） | １ | ・繰り返し音読し、狂歌のリズムを味わう。  ・狂歌、特に近世後期の江戸狂歌について、成立と特徴を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関各歌の作者について調べたり発表したりしている。 | 読語句の意味を正確に理解し、歌意を的確に捉えている。  読狂歌に詠み込まれたおもしろみを的確に読み取っている。 | 知句切れに注意して各歌を正しく音読している。  知狂歌の成立や特徴について文学史的な知識を持っている。 |

**《漢文編　Ⅰ部》**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 故事・寓話 | 画竜点睛  （p.8） | １ | ・比較的短い文章を読み、漢文を読む楽しみを味わう。  ・「画竜点睛」という言葉の意味と由来を理解する。  ・故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関平易な漢文を訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関故事成語の意味を、その由来も含めて漢和辞典などで調べている。  関話の時代背景について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読「須臾…」の前の省略、故事成語としての「画竜点睛」の意味を的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙や、使役形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知「画竜点睛」という言葉の意味と由来を理解している。  知本文の寓意を正確に理解している。 |
| 漱石枕流  （p.9） | １ | ・比較的短い文章を読み、漢文を読む楽しみを味わう。  ・「漱石枕流」という言葉の意味と由来を理解する。  ・故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関平易な漢文を訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関故事成語の意味を、その由来も含めて漢和辞典などで調べている。  関話の時代背景について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読孫子荊とその友人の王武子の対話から成る構成を的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙や、疑問形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知「漱石枕流」という言葉の意味と由来を理解している。  知本文の寓意を正確に理解している。 |
| 病入膏肓  （p.10～p.11） | １ | ・比較的短い文章を読み、漢文を読む楽しみを味わう。  ・「病膏肓に入る」という言葉の意味と由来を理解する。  ・故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関平易な漢文を訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関故事成語の意味を、その由来も含めて漢和辞典などで調べている。  関話の時代背景について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読景公が医の緩を良医とした理由を理解している。 | 知漢文に特有な語彙や、使役形・反語形・否定形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知「病膏肓に入る」という言葉の意味と由来を理解している。  知本文の寓意を正確に理解している。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 故事・寓話 | 梁上君子  （p.11～p.12） | １ | ・比較的短い文章を読み、漢文を読む楽しみを味わう。  ・「梁上の君子」という言葉の意味と由来を理解する。  ・故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関平易な漢文を訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関故事成語の意味を、その由来も含めて漢和辞典などで調べている。  関話の時代背景について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読陳寔の行為・発言の意味と「自是一県無復盗窃」が実現した理由を的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙や否定形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知「梁上の君子」という言葉の意味と由来を理解している。  知本文の寓意を正確に理解している。 |
| 先従隗始  （p.13～p.14） | １ | ・比較的短い文章を読み、漢文を読む楽しみを味わう。  ・「先ず隗より始めよ」という言葉の意味と由来を理解する。  ・故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関平易な漢文を訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関故事成語の意味を、その由来も含めて漢和辞典などで調べている。  関話の時代背景について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読「賢者」「士」「千里馬」「死馬」「郭隗」の関係を的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙や抑揚形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知「先ず隗より始めよ」という言葉の意味と由来を理解している。  知本文の寓意を正確に理解している。 |
| 杞憂  （p.14～p.15） | １ | ・比較的短い文章を読み、漢文を読む楽しみを味わう。  ・「杞憂」という言葉の意味と由来を理解する。  ・故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関平易な漢文を訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関故事成語の意味を、その由来も含めて漢和辞典などで調べている。  関話の時代背景について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読「其人」と「暁之者」がそれぞれ「舎然大喜」に至った理由を理解している。  話「杞憂」に相当することが現代にもあるか、話し合っている。 | 知漢文に特有な語彙や、否定形・反語形・疑問形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知「杞憂」という言葉の意味と由来を理解している。  知本文の寓意を正確に理解している。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 史伝Ⅰ | 赤壁の戦い  （p.16～p.18） | ２ | ・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わう。  ・「故事・寓話」よりもやや長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。  ・後漢から三国時代へと至る経緯について理解する。  ・「三国志」が正史であり、小説である「三国志演義」とは記述が異なることを理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関本文中に登場する地名について、地図で位置を確認している。  関曹操と劉備の関係と赤壁の戦いに至るまでの経緯について関心を持ち、調べている。  関「三国志」の内容や構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読赤壁の戦いの顛末と、曹操軍と劉備・孫権連合軍の情勢の変化について理解している。 | 知漢文に特有な語彙や、受身形などの句形、「Ａ［スル］ニＢヲ以テス」などの構文について、その読みと意味を理解している。  知登場人物の人物像・性格を理解している。  知後漢から三国時代へと至る歴史的背景を理解している。  知正史である「三国志」の内容について基本的知識を持っている。 |
| 背水の陣  （p.19～p.21） | ２ | ・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わう。  ・「故事・寓話」よりもやや長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。  ・「背水の陣」という言葉の意味と由来を理解する。  ・秦の始皇帝死去後の漢楚の抗争の歴史について理解する。  ・「史記」の概要と、中国の歴史叙述の基本形である紀伝体のスタイルについて理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関本文中に登場する地名について、地図で位置を確認している。  関韓信の活躍した時代の背景と彼の活躍ぶりに関心を持ち、調べている。  関「史記」の内容や構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読韓信の立てた戦略の内容とその戦略の効果について理解している。 | 知漢文に特有な語彙や、使役形などの句形、「Ａ［スル］コトＢ」などの構文について、その読みと意味を理解している。  知「背水の陣」という言葉の意味と由来を理解している。  知登場人物の人物像・性格を理解している。  知漢楚の抗争の歴史と、その中における韓信の活躍ぶりについて理解している。  知「史記」の成立事情や内容について基本的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 詩 | 絶句  （p.24～p.27）  ［秋風引］  ［雑詩］  ［望廬山瀑布］  ［芙蓉楼送辛漸］ | ２ | ・絶句を音読し、それぞれの詩のリズムを味わう。  ・詩句に込められた作者や登場人物の心情を把握する。  ・比喩表現を的確に捉え内容を理解する。  ・古体詩と近体詩の違いについて理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。  関詩中に登場する地名について、地図で位置を確認している。  関作者の生涯について調べ、詩の内容理解を深めようとしている。  関古体詩と近体詩の形式の違いについて調べている。 | 読漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読それぞれの詩に表現された心情や情景を的確に捉えている。  読［秋風引］結句の表現（「孤客最先聞」）に注意して、主題と作者の心情について的確に理解している。  読［雑詩］表面的な意味の裏にある、作者の妻に対する思いを的確に捉えている。  読［望廬山瀑布］前半後半の対照的な展開に注意して、瀑布の壮大な眺めの描写を的確に捉えている。  読［芙蓉楼送辛漸］作者の現在の境遇と結句の表現（「一片氷心在玉壺」）にたとえられた心境を的確に捉えている。 | 知近体詩（絶句）の形式を、古体詩との違いを踏まえて理解している。  知各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。  知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知［雑詩］疑問形について、その読みと意味を理解している。  知各詩に登場する地名について、その位置関係を理解している。  知作者の生涯について文学史的な知識を持っている。 |
| 律詩  （p.28～p.29）  ［臨洞庭］  ［登高］ | ２ | ・律詩を音読し、それぞれの詩のリズムを味わう。  ・詩句に込められた作者や登場人物の心情を把握する。  ・比喩表現を的確に捉え内容を理解する。  ・律詩の形式について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。  関詩中に登場する地名について、地図で位置を確認している。  関作者の生涯について調べ、詩の内容理解を深めようとしている。  関律詩の形式について調べている。 | 読漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。  読脚注を参照しながら、正確に現代語訳している。  読それぞれの詩に表現された心情や情景を的確に捉えている。  読［臨洞庭］雄大な臨洞庭の情景を描いた前半と卑小な存在としての自分を描いた後半という構成を的確に捉えている。  読［登高］周囲の情景を描写した前半と作者の置かれた状況と老残絶望の思いを描いた後半という構成を的確に捉えている。 | 知律詩の形式を、古体詩や絶句との違いを踏まえて理解している。  知各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。  知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知各詩に登場する地名について、その位置関係を理解している。  知作者の生涯について文学史的な知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 詩 | 古体詩  （p.30～p.33）  ［桃夭］  ［行行重行行］  ［七歩詩］  ［勅勒歌］ | ３ | ・さまざまな形式の古体詩を音読し、それぞれの詩のリズムを味わう。  ・詩句に込められた作者や登場人物の心情を把握する。  ・比喩表現を的確に捉え内容を理解する。  ・古体詩と近体詩の違いについて理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。  関詩中に登場する地名について、地図で位置を確認している。  関古体詩と近体詩の形式の違いについて調べている。 | 読漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読それぞれの詩に表現された心情や情景を的確に捉えている。  読［桃夭］比喩表現に注意して、家と子孫の繁栄を願うという主題を理解している。  読［行行重行行］旅に出た夫のことを思う妻の孤独な心を、詩句に即して的確に理解している。  読［七歩詩］比喩表現に注意して、兄に対して恨みを訴える弟という構図を理解している。  読［勅勒歌］モンゴル地方の大自然の情景を、詩句に即して理解している。 | 知古体詩の形式を、近体詩との違いを踏まえて理解している。  知各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。  知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知［行行重行行］反語形、「Ａ［スル］コトＢ」の構文について、その読みと意味を理解している。  知［七歩詩］疑問形について、その読みと意味を理解している。  知各詩に登場する地名について、その位置関係を理解している。 |
| 日本の漢詩  （p.34～p.38）  ［不出門］  ［題不識庵撃機山図］  ［思君］  ［火輪車中之作］ | ３ | ・日本の漢詩を音読し、それぞれの詩のリズムを味わう。  ・比喩表現を的確に捉え内容を理解する。  ・作者の心情を理解するとともに、自然観・教育観・人生観にまで鑑賞を高める。  ・日本の漢詩の歴史と特色について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。  関作者の生涯について調べ、詩の内容理解を深めようとしている。  関日本の漢詩の歴史について調べている。 | 読漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読それぞれの詩に表現された心情や情景を的確に捉えている。  読［不出門］作者が左遷された状況であることを把握し、作者の言いたいことを的確に捉えている。  読［題不識庵撃機山図］歴史上の戦いを題材とした詩であることを把握し、詩に描かれている情景を的確に捉えている。  読［思君］二首が連作の一部であることを把握し、愛しい人を思う作者の心情を的確に捉えている。  読［火輪車中之作］汽車に乗るという初めての経験をした作者の感動を的確に捉えている。 | 知各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。  知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知［不出門］反語形について、その読みと意味を理解している。  知作者の生涯について文学史的な知識を持っている。  知日本の漢詩の歴史について基本的な知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 文章 | 春夜宴桃李園序  （p.40～p.41） | １ | ・名文と呼ばれる文章を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。  ・駢儷文の持つ表現の華麗さを味わう。  ・繰り返し音読し、文章の構成には音律が深く関わっていることを理解する。  ・この文章が日本文学に与えた影響について知る。 | 関範読を参考にして、積極的に音読し暗唱しようとしている。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関各句の字数や対句など、表現上の特色について調べている。  関漢文における｢文章」にはどのような種類があるか調べている。  関作者李白の生涯や主な作品について調べている。  関この文章と日本文学との関係について関心を持ち、具体的な事例を調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読各句の字数や対句などの面から、この文章の表現上の特色を整理している。  話この文章からうかがえる李白の人生観について考察している。 | 知漢文に特有な語彙や、比況形・反語形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知本文の音読を通して、駢儷文特有のリズムを理解している。  知漢文における「文章」のジャンルについて基本的知識を持っている。  知作者李白について文学史的知識を持っている。  知この文章と日本文学との関連について、具体的な事例を把握している。 |
| 桃花源記  （p.42～p.44） | ２ | ・名文と呼ばれる文章を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。  ・六朝時代を代表する詩人陶潜とその時代背景を理解する。  ・説話小説的な内容の文章を、物語の展開に沿って正確に読解する。  ・「記」という文体と文章中の表現の関連について理解する。  ・作品全体の構成と作者の創作意図について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関漢文における「文章」にはどのような種類があるか調べている。  関作者陶潜の生涯や主な作品、陶潜が生きた時代について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読物語の展開に沿って、全体の構成を的確に捉えている。  読作者の考える「桃源郷（＝理想郷）」がどのようなものか、具体的な表現に即して理解している。  話実際の年号、地名、人名を使用したことの表現上の効果について話し合っている。 | 知漢文に特有な語彙や、否定形などの句形、「Ａ［スル］コトＢ」などの構文について、その読みと意味を理解している。  知漢文における「文章」のジャンルについて基本的知識を持っている。  知作者陶潜について文学史的知識を持っている。 |
| 師説  （p.45～p.47） | ２ | ・名文と呼ばれる文章を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。  ・繰り返し音読することで、「古文」としての魅力を味わう。  ・作者韓愈の社会批判の内容を時代背景を踏まえて理解する。  ・反語や対句の効果的な使用が、作者の主張に説得力を与えていることを理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関漢文における「文章」にはどのような種類があるか調べている。  関作者韓愈の生涯や主な作品、韓愈が生きた時代について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読反語や対句の表現に注意して、作者の主張の展開を的確に捉えている。  読時代背景を踏まえて、作者の「師道」についての考え方と社会批判の内容を的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙や、反語形などの句形、「ＡやＢ」や対句などの構文について、その読みと意味を理解している。  知漢文における「文章」のジャンルについて基本的知識を持っている。  知作者韓愈について文学史的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 史伝Ⅱ | 鴻門之会  （p.48～p.56）  ［㈠沛公、項王に見ゆ］  ［㈡樊噲、頭髪上指す］  ［㈢臣死すら且つ避けず］  ［㈣沛公、車騎を置きて脱す］  ［㈤豎子、与に謀るに足らず］ | ７ | ・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わう。  ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。  ・本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解する。  ・秦の始皇帝死去後の漢楚の抗争の歴史について理解する。  ・中国の歴史叙述の基本形である紀伝体のスタイルについて理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関本文中に登場する地名について、地図で位置を確認している。  関項王と沛公の関係と「鴻門之会」に至るまでの経緯について関心を持ち、調べている。  関「史記」の内容や構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読項王側と沛公側とに分けて登場人物を的確に捉え、各人の役割と言動、心理を理解している。  読［㈠沛公、項王に見ゆ］沛公が「百余騎」で項王の陣営にやってきた理由と、沛公の言葉に隠されたもくろみを的確に捉えている。  読［㈡樊噲、頭髪上指す］張良の場に応じた対応の意図を的確に捉えている。  読［㈢臣死すら且つ避けず］樊噲の弁舌の要旨と、それを受けた項王の対応を的確に捉えている。  読［㈣沛公、車騎を置きて脱す］樊噲と張良が場において果たした役割を的確に捉えている。  読［㈤豎子、与に謀るに足らず］沛公が去った後の張良の振る舞いと、それに対する項王・范増の対応の違いについて的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知［㈠沛公、項王に見ゆ］使役形・否定形・反語形・受身形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知［㈢臣死すら且つ避けず］抑揚形・否定形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知［㈣沛公、車騎を置きて脱す］疑問形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知［㈤豎子、与に謀るに足らず］使役形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知登場人物の人物像・性格を理解している。  知本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解している。  知項王と沛公の関係と「鴻門之会」に至るまでの経緯について歴史的背景を理解している。  知「史記」の成立事情や内容について基本的知識を持っている。 |
| 四面楚歌  （p.57～p.61）  ［㈠項王、悲歌忼慨す］  ［㈡項王、自刎して死す］ | ３ | ・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わう。  ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。  ・項王の詩を読み味わう。  ・「四面楚歌」という言葉の意味と由来を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関本文中に登場する地名について、地図で位置を確認している。  関「史記」の内容や構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  ・文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読［㈠項王、悲歌忼慨す］「乃大驚」という項王の心理と「力抜山…」の詩に込められた心情を的確に捉えている。  読［㈡項王、自刎して死す］亭長に対する項王の言葉に込められた心情を的確に捉え、項王が亭長に愛馬を与えた理由を理解している。 | 知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知［㈠項王、悲歌忼慨す］詠嘆形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知［㈡項王、自刎して死す］願望形・限定形・反語形・疑問形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解している。  知項王の人物像を理解している。  知「四面楚歌」という言葉の意味と由来を理解している。  知「史記」の成立事情や内容について基本的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 思想 | 論語  （p.62～p.64） | ２ | ・「論語」の読解を通して、人間や社会のあり方に対する儒家の主張の概要を理解する。  ・「論語」の文章の特色を理解して読み味わう。  ・孔子の思想が現代においてどのような意義を持つか考察する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関諸子百家が登場した春秋・戦国時代の歴史に関心を持ち、調べている。  関孔子の人物像や「論語」の内容・構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読指示語の対象や語句の対応関係に注意して、内容を的確に捉えている。  読孔子が理想とする「学問」「教育」「政治」のあり方を、本文に即して理解している。  読理想的な人間の姿である「君子」についての孔子の考えを理解している。 | 知漢文に特有な語彙や、仮定形・反語形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知徳治主義など儒家思想の特色について理解している。  知諸子百家が登場した時代背景について理解している。  知孔子と「論語」について、基本的な知識を持っている。 |
| 孟子  （p.65～p.67）  ［四端］  ［性善］ | ２ | ・孟子が主張する「性善説」など、人間や社会のあり方に対する儒家の主張の概要を理解する。  ・「孟子」の文章の特色を理解して読み味わう。  ・孟子の思想が現代においてどのような意義を持つか考察する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関諸子百家が登場した春秋・戦国時代の歴史に関心を持ち、調べている。  関諸子百家における孟子の位置づけや「孟子」の内容・構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読対句、指示語の対象などに注意して、内容を的確に捉えている。  読［四端］人間の本性と道徳の関係について、孟子の主張を的確に捉えている。  読［性善］告子の主張とそれに対する孟子の反論の要点を的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知［四端］「Ａ［スル］コトＢ」などの構文について、その読みと意味を理解している。  知［性善］否定形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知諸子百家が登場した時代背景について理解している。  知諸子百家における孟子の位置づけについて、基本的な知識を持っている。  知「性善説」など、孟子の思想の特色について理解している。 |
| 荀子  （p.68～p.71）  ［学不可以已］  ［星隊木鳴］  ［性悪］ | ３ | ・「荀子」の読解を通して、人間や社会のあり方に対する儒家の主張の概要を理解する。  ・「荀子」の文章の特色を理解して読み味わう。  ・荀子の思想が現代においてどのような意義を持つか考察する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関諸子百家が登場した春秋・戦国時代の歴史に関心を持ち、調べている。  関諸子百家における荀子の位置づけや「荀子」の内容・構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読具体例を丁寧に読み取り、内容を的確に捉えている。  読［学不可以已］学問の重要性について述べた荀子の主張を的確に読み取っている。  読［星隊木鳴］自然現象に対する荀子の見解と、「君主」「政治」と自然現象との関わりを的確に読み取っている。  読［性悪］孟子の｢性善説」と荀子の「性悪説」を比較し、人間の本性に対する認識の違いを理解している。 | 知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知［学不可以已］仮定形・否定形・使役形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知［星隊木鳴］疑問形・否定形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知諸子百家が登場した時代背景について理解している。  知諸子百家における荀子の位置づけについて、基本的な知識を持っている。  知「性悪説」など、荀子の思想の特色について理解している。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 漢文  解析 | 人主者以刑徳制臣  （p.72） | １ | ・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。  ・「ＡはＢ」の構文や主従関係に注意しながら、本文を正確に読み解く。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句の意味を漢和辞典を用いて調べている。  関「ＡはＢ」の構文や主従関係を押さえることが、本文の正確な読み解きにつながることを理解している。 | 読語注を参照しながら、傍線部を書き下し文にできる。  読「ＡはＢ」の構文や主従関係などに注意して、正確に現代語訳している。  読「虎」と「犬」の例え話を用いて伝えたかった、作者の主張を理解している。 | 知漢文に特有な語彙や基本的な句形、構文について、その読みと意味を理解している。 |
| 教学相長也  （p.73） | １ | ・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。  ・対句や接続表現に注意しながら、本文を正確に読み解く。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句の意味を漢和辞典を用いて調べている。  関対句や接続表現を押さえることが、本文の正確な読み解きにつながることを理解している。 | 読語注を参照しながら、登場人物の言動を理解している。  読対句や接続表現などに注意して、正確に現代語訳している。  読教えることと学ぶことの関係性について、作者の主張を理解している。 | 知漢文に特有な語彙や基本的な句形、構文について、その読みと意味を理解している。 |
| 聖人治天下  （p.74） | １ | ・正しく音読し、傍線部や語注に注意しながら現代語訳ができるようにする。  ・「Ａ［スル］ニＢヲ以テス」の構文や反語に注意しながら、本文を正確に読み解く。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句の意味を漢和辞典を用いて調べている。  関「Ａ［スル］ニＢヲ以テス」の構文や反語を押さえることが、本文の正確な読み解きにつながることを理解している。 | 読語注を参照しながら、登場人物の言動を理解している。  読「Ａ［スル］ニＢヲ以テス」の構文や反語に注意して、正確に現代語訳している。  読作者が主張する、「聖人」が天下を治めることができる理由を的確に読み取っている。 | 知漢文に特有な語彙や基本的な句形、構文について、その読みと意味を理解している。 |

**《漢文編　Ⅱ部》**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 逸話 | 不顧後患  （p.76～p.77） | １ | ・比較的短い中に完結性とテーマ性を持つ文章を読み、漢文への興味関心を高める。  ・たとえ話や比喩表現に注意して、話の内容を理解する。  ・話から読み取れる教訓や人生の知恵について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関話の時代背景について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読たとえ話の真意である諌言の内容を理解している。 | 知漢文に特有な語彙や、否定形・詠嘆形などの句形、「Ａ［スル］コトＢ」などの構文について、その読みと意味を理解している。  知話の時代背景について基本的な知識を持っている。 |
| 孔明臥竜  （p.78～p.79） | １ | ・比較的短い中に完結性とテーマ性を持つ文章を読み、漢文への興味関心を高める。  ・たとえ話や比喩表現に注意して、話の内容を理解する。  ・話から読み取れる教訓や人生の知恵について理解する。  ・｢臥竜｣｢三顧の礼｣｢水魚の交わり｣という言葉の意味と由来を理解する。  ・諸葛亮・劉備など歴史上の人物について関心を持ち、人物像について考察する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関話の時代背景について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読諸葛亮の人物像、劉備と諸葛亮の関係を理解している。 | 知漢文に特有な語彙や、限定形・疑問形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知「臥竜」「三顧の礼」「水魚の交わり」という言葉の意味と由来を理解している  知諸葛亮・劉備など歴史上の人物について基本的な知識を持っている。  知話の時代背景について基本的な知識を持っている。 |
| 三横  （p.80～p.81） | １ | ・比較的短い中に完結性とテーマ性を持つ文章を読み、漢文への興味関心を高める。  ・たとえ話や比喩表現に注意して、話の内容を理解する。  ・話から読み取れる教訓や人生の知恵について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関話の時代背景について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読周処の人間としての変化を、本文の展開に即して理解している。 | 知漢文に特有な語彙や、受身形・願望形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知話の時代背景について基本的な知識を持っている。 |
| 江南橘為江北枳  （p.82～p.83） | １ | ・比較的短い中に完結性とテーマ性を持つ文章を読み、漢文への興味関心を高める。  ・たとえ話や比喩表現に注意して、話の内容を理解する。  ・話から読み取れる教訓や人生の知恵について理解する。  ・「江南の橘、江北の枳となる」という言葉の意味と由来を理解する。  ・晏子など歴史上の人物について関心を持ち、人物像について考察する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関話の時代背景について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読荊王と晏子のやりとりの内容を的確に読み取り、荊王が「自中」となってしまった理由を理解している。  話晏子の人物像について話し合っている。 | 知漢文に特有な語彙や、疑問形・願望形・反語形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知「江南の橘、江北の枳となる」という言葉の意味と由来を理解している。  知晏子など歴史上の人物について基本的な知識を持っている。  知話の時代背景について基本的な知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 史伝Ⅰ | 荊軻  （p.84～p.86） | ２ | ・人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わう。  ・「逸話」よりもやや長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。  ・荊軻の活躍した戦国時代の概要を理解する。  ・「十八史略」の概要と、編年体の記述の特徴について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関本文中に登場する地名について、地図で位置を確認している。  関秦を中心とした当時の国々の力関係ならびに「刺客」という存在について関心を持ち、調べている。  関「十八史略」の内容や構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読荊軻が樊於期の首を請うたときの太子丹・樊於期の心情、ならびに秦王の暗殺に命を賭ける荊軻の心情を理解している。  話荊軻の人物像について話し合っている。 | 知漢文に特有な語彙や、願望形・否定形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知登場人物の人物像・性格を理解している。  知戦国時代の歴史的背景を理解している。  知「十八史略」の内容について基本的知識を持っている。 |
| 子路  （p.87～p.89） | ２ | ・人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わう。  ・「逸話」よりもやや長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。  ・孔子と「孔門十哲」について理解する。  ・「史記」の概要と、紀伝体の記述の特徴について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関「孔門十哲」に関心を持ち、それぞれの人物について調べている。  関「史記」の内容や構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読命の危険にさらされても仕えた主人への忠義を守ろうとする子路の心情を理解している。  話子路の人物像について話し合っている。 | 知漢文に特有な語彙や、否定形・反語形・願望形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知登場人物の人物像・性格を理解している。  知「孔門十哲」について理解している。  知「史記」の成立事情や内容について基本的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 詩 | 月下独酌  （p.90～p.91） | １ | ・詩句に込められた作者の心情を把握する。  ・五言古詩の形式と、押韻・対句・擬人法などの技巧を理解する。  ・作者の生涯やこの詩が作られた背景について知る。  ・作者が理想とする生き方について考える。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。  関作者の生涯について調べ、詩の内容理解を深めようとしている。  関古体詩の形式について調べている。 | 読漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。  読脚注を参照しながら、正確に現代語訳している。  読詩句に表現された作者の心情を的確に捉えている。  話作者が理想とした生活について話し合っている。 | 知詩形・押韻・対句などを正確に理解している。  知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知作者の生涯について文学史的な知識を持っている。 |
| 兵車行  （p.92～p.94） | ２ | ・詩句に込められた作者の心情を把握する。  ・七言古詩の形式と、押韻・対句・全体の構成を理解する。  ・歴史的背景を調べ、作者がこの詩を作った動機と主題を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。  関この詩の歴史的背景について調べ、詩の内容理解を深めようとしている。  関古体詩の形式について調べている。 | 読漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読詩句に表現された出征兵士の苦悩と家族の悲惨な状況を的確に捉えている。  話作者がこの詩を作った動機について、歴史的背景を踏まえて話し合っている。 | 知詩形・押韻・対句などを正確に理解している。  知漢文に特有な語彙や、仮定形・抑揚形・受身形・反語形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知この詩の歴史的背景について基本的な知識を持っている。 |
| 長恨歌  （p.95～p.102） | ５ | ・長文の詩を読んで、全体の構成を把握する。  ・史実を踏まえて、詩の内容を理解する。  ・比喩表現や対句などの優れた表現を味わう。  ・「長恨歌」の日本文学への影響について知る。  ・鑑賞文を書いたり、暗唱して、作品への理解を深める。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。  関この詩の歴史的背景について調べ、詩の内容理解を深めようとしている。  関「長恨歌」の日本文学への影響について調べている。 | 読漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。  読詩全体の構成を話の展開に即して理解している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読玄宗と楊貴妃の心情を、詩句に即して的確に捉えている。  読生死をも超越した男女の愛を描いたこの詩の主題を理解している。 | 知詩形・押韻・対句などを正確に理解している。  知漢文に特有な語彙と、反語形・使役形・願望形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知この詩の歴史的背景について基本的な知識を持っている。  知「長恨歌」の日本文学への影響について文学史的な知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 文章 | 漁父辞  （p.104～p.106） | ２ | ・名文と呼ばれる文章を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。  ・作者屈原と、屈原らの辞を収めた「楚辞」について理解する。  ・「辞」という文体と文章中の表現の関連について理解する。  ・作品が書かれた当時の社会状況を踏まえ、作者の主張を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関漢文における「文章」にはどのような種類があるか調べている。  関作者屈原の生涯や、屈原が生きた時代について関心を持ち、調べている。  関作者の辞を収めた「楚辞」について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読話の展開に沿って、全体の構成を的確に捉えている。  読屈原と漁夫とのやりとりを踏まえ、二人の主張する内容を的確に捉えている。  話屈原と漁夫がどのような人物として描かれているかについて話し合っている。 | 知漢文に特有な語彙や、疑問形・反語形・使役形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知反語形の違いによって漁夫と屈原の心理がどのように表現されているかを理解している。  知漢文における「文章」のジャンルについて基本的知識を持っている。  知作者屈原について文学史的知識を持っている。 |
| 捕蛇者説  （p.107～p.110） | ３ | ・名文と呼ばれる文章を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。  ・作者柳宗元と唐宋八大家について理解する。  ・「説」という文体と文章中の表現の関連について理解する。  ・作品が書かれた当時の社会状況を踏まえ、作者の主張を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関漢文における「文章」にはどのような種類があるか調べている。  関作者柳宗元の生涯や主な作品、柳宗元が生きた時代について関心を持ち、調べている。  関作者が提唱した古文復興運動と、作者を含む唐宋八大家について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読話の展開に沿って、全体の構成を的確に捉えている。  読作者と「捕蛇者」とのやりとりを踏まえ、作者の「捕蛇者」に対する理解がどのように変化していったか理解している。  話この文章を通じて作者が為政者に対して言いたかったことについて話し合っている。 | 知漢文に特有な語彙や、比較形・詠嘆形・反語形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知漢文における「文章」のジャンルについて基本的知識を持っている。  知作者柳宗元と唐宋八大家について文学史的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 文章 | 岳陽楼記  （p.110～p.113） | ２ | ・名文と呼ばれる文章を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。  ・作者范仲淹について理解する。  ・「記」という文体と文章中の表現の関連について理解する。  ・作品が書かれた当時の社会状況を踏まえ、作者の主張を理解する。  ・「先憂後楽」の成語の意味と、この言葉の意図するところについて、理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関漢文における「文章」にはどのような種類があるか調べている。  関作者范仲淹の生涯や、范仲淹が生きた時代について関心を持ち、調べている。  関岳陽楼と、それを題材とした作品について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読話の展開に沿って、全体の構成を的確に捉えている。  読「古仁人」が岳陽楼に集う「遷客騒人」とどのような点で異なっているかについて理解している。  読「先天下之憂而憂、後天下之楽而楽」という表現に込められた意図について理解している。 | 知漢文に特有な語彙や、使役形・詠嘆形・仮定形・反語形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知漢文における「文章」のジャンルについて基本的知識を持っている。  知「先憂後楽」の成語の意味を理解している。  知作者范仲淹について文学史的知識を持っている。 |
| 売柑者言  （p.114～p.116） | ２ | ・名文と呼ばれる文章を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。  ・作者劉基について理解する。  ・作品が書かれた当時の社会状況を踏まえ、作者の主張を理解する。  ・疑問や反語の表現が、｢売柑者」の主張に説得力を与えていることを理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関作者劉基の生涯や、劉基が生きた時代について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読話の展開に沿って、全体の構成を的確に捉えている。  読「予」が「売柑者」の言をどのように受け取ったのかについて理解している。  話「予」が「売柑者」のことをどのように見ているのかについて考察している。 | 知漢文に特有な語彙や、詠嘆形・倒置形・累加形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知「売柑者」の言に疑問や反語の表現が多用されていることの効果について理解している。  知作者劉基について文学史的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 伝奇  小説 | 人面桃花  （p.117～p.120） | ２ | ・唐代の伝奇小説を読み、恋愛を主題にした内容を味わう。  ・物語の展開と時間の経過に注意して、全体の構成を捉える。  ・七言絶句を効果的に用いた構成の妙を理解する。  ・登場人物の心情を、具体的な表現に即して的確に読み取る。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関中国の古典小説について関心を持ち、その特色や代表的な作品について調べている。  関科挙について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読崔護と娘のやりとりから二人の心情を的確に読み取っている。  読七言絶句に込められた崔護の心情を的確に読み取っている。  読娘が死に、その後生き返った経緯を的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙や、比況形・反語形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知本文中の漢詩について、詩形・押韻・構成を理解している。  知科挙について基本的な知識を持っている。  知中国の古典小説について文学史的知識を持っている。 |
| 種梨  （p.120～p.123） | ３ | ・清代の文語体小説を読み、庶民の言動を生き生きと描いた文章の魅力を味わう。  ・物語の展開と時間の経過に注意して、全体の構成を捉える。  ・この話から読み取れる教訓を理解する。  ・清代初頭の文言（文語）小説について概略を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関中国の古典小説について関心を持ち、その特色や代表的な作品について調べている。  関道士や道教について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読道士と郷人の言動が対照的であることを理解している。  読道士が人々に見せた術の内容を的確に読み取っている。  読この話から読み取れる教訓を理解している。 | 知漢文に特有な語彙や、使役形・限定形などの句形、「…［スル］（者）有リ」などの構文について、その読みと意味を理解している。  知対比的な表現の効果を理解している。  知中国の古典小説について文学史的知識を持っている。  知道士や道教について基本的な知識を持っている。 |
| 三夢記  （p.124～p.129）  〔前書き〕  〔第一話〕  〔第二話〕  〔第三話〕 | ４ | ・唐代の伝奇小説を読み、格調高い古文で書かれた文章の魅力を味わう。  ・虚構を真実として扱うことを目標とするのが「記」であることを理解する。  ・〔前書き〕の内容と、〔第一話〕〔第二話〕〔第三話〕の内容との対応を理解する。  ・〔第一話〕〔第二話〕〔第三話〕それぞれの夢を比較し、三話から成る構成が非常に緻密なものであることを理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関中国の古典小説について関心を持ち、その特色や代表的な作品について調べている。  関白居易・元稹など実在する登場人物について、生涯や作品などを調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読〔第一話〕帰宅途中の夫が見た現象が妻の夢の中の出来事であったことを、的確に読み取っている。  読〔第二話〕元稹を思いやる白居易の詩と、それに応えるかのような元稹の詩の内容を的確に読み取っている。  読〔第三話〕竇質が見た夢と女巫が見た夢の内容を比較しながら、的確に読み取っている。  読三話それぞれの夢を比較し、三話からなる全体の構成について理解している。 | 知漢文に特有な語彙や、「…［スル］者或リ」などの構文について、その読みと意味を理解している。  知本文中の漢詩について、詩形・押韻・構成を理解している。  知中国の古典小説について文学史的知識を持っている。  知白居易・元稹など実在する登場人物について文学史的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 史伝Ⅱ | 廉頗と藺相如  （p.130～p.139）  ［㈠璧を完うして趙に帰る］  ［㈡澠池の会］  ［㈢刎頸の交はり］ | ８ | ・人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わう。  ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。  ・「完璧」「刎頸の交わり」の成語の由来を理解する。  ・廉頗と藺相如の生きた戦国時代の概要を理解する。  ・「史記」の概要と、列伝の記述の特徴について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関詩中に登場する地名について、地図で位置を確認している。  関戦国時代の歴史について関心を持ち、調べている。  関「史記」の内容や構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読［㈠璧を完うして趙に帰る］秦王の要求に対し、藺相如を中心とする趙側がどう判断し、どのように対抗しようとしたかを的確に捉えている。  読［㈡澠池の会］藺相如がどのような方法を用いて秦に趙の要求をのませたかを的確に捉えている。  読［㈢刎頸の交はり］廉頗の不満の内容と、それに対する藺相如の対応の意図を理解している。  話廉頗と藺相如の人物像について話し合っている。 | 知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知［㈠璧を完うして趙に帰る］疑問形・選択形・抑揚形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知［㈢刎頸の交はり］選択形・反語形・否定形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知登場人物の人物像・性格を理解している。  知「完璧」「刎頸の交わり」の成語の由来を理解している。  知戦国時代の歴史的背景を理解している。  知「史記」の成立事情や内容について基本的知識を持っている。 |
| 蘇武と李陵  （p.140～p.147）  ［㈠蘇武、南に郷かひて号哭し血を欧く］  ［㈡李陵、遂に匈奴に死せり］ | ４ | ・人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わう。  ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。  ・漢王朝における帝と臣下の関係、漢王朝と匈奴の関係について、概要を理解する。  ・時代背景を踏まえて、蘇武と李陵の人物像を的確に捉える。  ・「資治通鑑」の概要と、編年体の記述の特徴について理解する。  ・中島敦「李陵」など、関連する文学作品を読み、本文の内容と比較する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関詩中に登場する地名について、地図で位置を確認している。  関蘇武と李陵が匈奴の捕虜になるまでの経緯に関心を持ち、調べている。  関「資治通鑑」の内容や構成について関心を持ち、調べている。  関中島敦「李陵」など、関連する作品を読み、本文の内容と比較している。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。  読［㈠蘇武、南に郷かひて号哭し血を欧く］決して匈奴に降伏しようとしない蘇武の姿勢と、そこからうかがえる武帝との関係について、的確に捉えている。  読［㈡李陵、遂に匈奴に死せり］蘇武の帰国に至る経緯と、決して観に戻ろうとしなかった李陵の心情について、的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知［㈠蘇武、南に郷かひて号哭し血を欧く］「Ａ［スル］コトＢ」「Ａ［スル］ニＢヲ以テス」などの構文について、その読みと意味を理解している。  知［㈡李陵、遂に匈奴に死せり］使役形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知登場人物の人物像・性格を理解している。  知蘇武と李陵が匈奴の捕虜になるまでの経緯について歴史的背景を理解している。  知「資治通鑑」の成立事情や内容について基本的知識を持っている。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 思想 | 老子  （p.148～p.149）  ［無用之用］  ［大道廃有仁義］ | １ | ・老子と道家思想について、諸子百家における位置づけも含めて理解する。  ・逆説的な論理展開に注意して、簡潔な文章によって表現されている内容を的確に捉える。  ・儒家思想とも比較しながら、老子の世界観についての理解を深める。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関諸子百家が登場した春秋・戦国時代の歴史に関心を持ち、調べている。  関諸子百家における老子の位置づけや「老子」の内容・構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、正確に現代語訳している。  読逆説的な論理展開を的確に捉えている。  読［無用之用］「無用」が「用」を生じさせているという老子の主張を的確に捉えている。  読［大道廃有仁義］「無」の強調と儒家の徳治主義に対する批判を的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙について、読みと意味を理解している。  知諸子百家が登場した時代背景について理解している。  知諸子百家における老子の位置づけについて、基本的な知識を持っている。  知老子の思想の特色について理解している。 |
| 荘子  （p.149～p.152）  ［蝴蝶之夢］  ［渾沌］  ［言、大而無用］ | ２ | ・荘子と道家思想について、諸子百家における位置づけも含めて理解する。  ・「荘子」の文章の読解を通して、「万物斉同」「無為自然」「無用之用」について理解する。  ・荘子の思想が現代においてどのような意義を持つか考察する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関諸子百家が登場した春秋・戦国時代の歴史に関心を持ち、調べている。  関諸子百家における荘子の位置づけや「荘子」の内容・構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読［蝴蝶之夢］荘子が説く「万物斉同」の境地を理解している。  読［渾沌］「渾沌死」の意味を的確に捉え、道家の説く「無為自然」について理解している。  読［言、大而無用］「無用」に関する、恵子と荘子の考え方の違いを的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知［蝴蝶之夢］詠嘆形・疑問形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知［渾沌］「Ａ［スル］コトＢ」などの構文について、その読みと意味を理解している。  知［言、大而無用］反語形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知諸子百家が登場した時代背景について理解している。  知諸子百家における荘子の位置づけについて、基本的な知識を持っている。  知荘子の思想の特色について理解している。 |
| 単元名 | 教材名 | 時間数 | 学習目標 | 評価の観点 | | |
| 関関心・意欲・態度 | 話話す・聞く能力、書書く能力、読読む能力 | 知知識・理解 |
| 思想 | 韓非子  （p.152～p.155）  ［侵官之害］  ［処知則難］ | ２ | ・韓非子と法家思想について、諸子百家における位置づけも含めて理解する。  ・「韓非子」の文章の読解を通して、韓非子の説く法治主義と理想的な政治のあり方について理解する。  ・孔子の徳治主義、孟子の王道政治と比較しながら、韓非子の思想の特色を理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関諸子百家が登場した春秋・戦国時代の歴史に関心を持ち、調べている。  関諸子百家における韓非子の位置づけや「韓非子」の内容・構成について関心を持ち、調べている。  関儒家思想と比較しながら、法家思想の特色について理解しようとしている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読登場人物の関係とそれぞれの役割を的確に捉えている。  話［侵官之害］昭侯が下した処罰の例を通して、韓非子の説く理想の政治のあり方を考察している。  読［処知則難］二つの例話を通して相手の立場・心理を見抜いた行動の難しさを説いた内容を的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。  知［侵官之害］否定形・比較形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知［処知則難］受身形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知諸子百家が登場した時代背景について理解している。  知諸子百家における韓非子の位置づけについて、基本的な知識を持っている。  知韓非子の思想の特色について理解している。 |
| 墨子  （p.156～p.158）  ［非攻］ | １ | ・墨子と墨家思想について、諸子百家における位置づけも含めて理解する。  ・「墨子」の論法に注意しながら内容を読み取り、「非攻」の思想について理解する。  ・墨子の思想が現代においてどのような意義を持つか考察する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関諸子百家が登場した春秋・戦国時代の歴史に関心を持ち、調べている。  関諸子百家における墨子の位置づけや「墨子」の内容・構成について関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読同表現の反復に注意して、内容を的確に読み取っている。  読前半に挙げられている「不義」の例と、それに対する墨子の見解を的確に捉えている。  読後半で墨子が説く戦争に対する主張の内容を的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙や、仮定形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知諸子百家が登場した時代背景について理解している。  知諸子百家における墨子の位置づけについて、基本的な知識を持っている。  知墨子の思想の特色について理解している。 |
| 性非学者之所急  （p.160～p.161） | １ | ・本文に出てくる諸子百家に注意しながら内容を読み取り、作者の主張について理解する。  ・「性」について古来論じられてきた内容を理解し、これらの論が現代においてどのような意義を持つか考察する。  ・日本漢文の歴史と書かれてきた内容について理解する。 | 関範読を参考にして、積極的に音読している。  関訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。  関本文中の語句について、漢和辞典で調べている。  関作者の活躍した江戸時代において漢文が与えた影響と日本で著された漢文に関心を持ち、調べている。 | 読正確かつ適度な速度で訓読している。  読脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。  読同表現の反復に注意して、内容を的確に読み取っている。  読「性善」「性悪」に対する、道に志す者と道に志さない者との姿勢の違いを正しく理解し、これらを踏まえた作者の主張を的確に捉えている。 | 知漢文に特有な語彙や、仮定形・限定形などの句形について、その読みと意味を理解している。  知本文に出てくる諸子百家について、基本的な知識を持っている。  知日本漢文の歴史と書かれてきた内容について基本的な知識を持っている。 |